

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表01 Social Cognition 1 (大講堂) 8:30 ~ 9:45

座長 竹橋 洋毅

- | | | | |
|-------|--|----------------------------------|------------------------------------|
| 01-01 | 8:30 ~ 8:45
制御焦点が目標活性のパターンに与える影響 | ○竹橋 洋毅 | 東京未来大学 |
| 01-02 | 8:45 ~ 9:00
プライド表出は社会的地位のシグナルか? : IAT
を用いた検討 | ○兪 叶韵
大坪 庸介 | 神戸大学
神戸大学 |
| 01-03 | 9:00 ~ 9:15
恋人概念の閾下プライムが自己ステレオタイプ化と
身体的力強さ行動に及ぼす効果 | ○沼崎 誠
松崎 圭佑
埴田 健司
平間 一樹 | 首都大学東京
首都大学東京
一橋大学
首都大学東京 |
| 01-04 | 9:15 ~ 9:30
複雑な行動に対するプライミング効果の検討 | ○工藤 恵理子 | 東京女子大学 |
| 01-05 | 9:30 ~ 9:45
ロマンティック幻想の潜在測度と理想の関係 | ○麻生 奈央子
坂元 章 | お茶の水女子大学
お茶の水女子大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表02 Criminology (N2) 8:30～9:45

座長 高木 大資

- | | | |
|-------|--|---|
| 02-01 | 8:30～8:45
被害者理解関連語との単純接触が犯罪被害者への態度に与える影響
— 犯罪不安との関連についての検討 — | ○新岡 陽光 法政大学
高野 陽太郎 東京大学 |
| 02-02 | 8:45～9:00
警察活動への接触が犯罪不安に及ぼす影響 | ○荒井 崇史 追手門学院大学 |
| 02-03 | 9:00～9:15
“監視”が地域についての認知に与える影響 | ○高木 大資 東京大学
島田 貴仁 科学警察研究所
雨宮 護 筑波大学 |
| 02-04 | 9:15～9:30
街頭防犯カメラに対する態度構造と社会的受容 | ○島田 貴仁 科学警察研究所
高木 大資 東京大学
雨宮 護 筑波大学 |
| 02-05 | 9:30～9:45
人の存在が不適正行動を抑制させる影響 | ○森 康浩 北海道大学
大沼 進 北海道大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表03 Self 1 (S1) 8:30～9:45

座長 福島 治

- | | | | |
|-------|---|-----------------|-----------------------------|
| 03-01 | 8:30～8:45
非対面型ツールが自己開示に及ぼす影響 — イライザとEメールの比較 — | ○伊藤 詩菜 | 北海道大学 |
| 03-02 | 8:45～9:00
社会的支配志向性の性差に及ぼすサイコバシーの影響 | ○増井 啓太
横田 晋大 | 慶應義塾大学・日本学術振興会
総合研究大学院大学 |
| 03-03 | 9:00～9:15
自己愛傾向および自尊心がソーシャルゲームへの没入に及ぼす影響 | ○加藤 仁
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| 03-04 | 9:15～9:30
自己概念の変動性を表す指標の比較 | ○福島 治 | 新潟大学 |
| 03-05 | 9:30～9:45
クチコミの動機がクチコミの手段の選択に与える影響 — ソーシャル・メディア上のクチコミ行動に着目して — | ○片桐 英毅 | 学習院大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表04 Cross-cultural Psychology (S2) 8:30~9:45

座長 石井 敬子

- 04-01 8:30~8:45 〇真鍋 一史 青山学院大学
価値観の測定とその構造——Schwartzの価値観研究の展望——
- 04-02 8:45~9:00 〇石井 敬子 神戸大学
小宮 あすか ヴァージニア大学
大石 繁宏 ヴァージニア大学
住居の流動性による感情認識への影響：日米比較研究
- 04-03 9:00~9:15 〇本山 美希 青山学院大学
田崎 勝也
日本人のプランコンプレキシティ：計画性の日ロ比較
- 04-04 9:15~9:30 〇五十嵐 祐 名古屋大学
一般的信頼とサポート知覚におけるマクロレベルの文化の影響：EQLS2012データに基づく国際比較
- 04-05 9:30~9:45 〇佐藤 剛介 名古屋大学
他者志向的社会不安に対する社会生態学的アプローチ：国際比較による検討

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表05 Fairness and Morality (N2) 10:00～11:15

座長 清水 裕士

- | | | |
|-------|--|-----------------------------|
| 05-01 | 10:00～10:15
分配の正義とリスク下の意思決定の相同性の要因を
探る | ○清水 裕士 広島大学 |
| 05-02 | 10:15～10:30
内集団の規範遵守率が自己犠牲行動の選択プロセス
におよぼす影響 | ○上原 依子 大阪大学 |
| 05-03 | 10:30～10:45
道徳意識と手続き的公正効果 | ○青木 俊明 東北大学
林 洋一郎 慶応義塾大学 |
| 05-04 | 10:45～11:00
勢力感が制裁反応に与える影響 — カラシ入り
シュークリームを用いた検討 — | ○橋本 剛明 東京大学
唐沢 かおり 東京大学 |
| 05-05 | 11:00～11:15
集団規範認知は共有されるか：多様なメタ認知との
関連の検討 | ○正木 郁太郎 東京大学
村本 由紀子 東京大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表06 Intergroup Relations (S1) 10:00～11:15

座長 横田 晋大

- | | | | |
|-------|---|-----------------------------------|---|
| 06-01 | 10:00～10:15
集団の成立基盤としての集団アイデンティティ(2)
— 実験集団を対象としたマルチレベルモデルによる検討 — | ○尾関 美喜 | 早稲田大学 |
| 06-02 | 10:15～10:30
外集団脅威の状況手がかりによる外集団攻撃の生起の性差 — 最小条件集団を用いた実験的検討 — | ○横田 晋大
坪井 翔
三船 恒裕
杉浦 仁美 | 総合研究大学院大学
応用社会心理学研究所
高知工科大学
広島大学 |
| 06-03 | 10:30～10:45
個人間・集団間における先制攻撃 | ○三船 恒裕
肥前 洋一
上條 良夫
岡野 芳隆 | 高知工科大学
高知工科大学
高知工科大学
高知工科大学 |
| 06-04 | 10:45～11:00
外集団による加害者との類似性の表明が集団間態度に与える影響：
複数の態度への媒介過程の検討 | ○後藤 伸彦
唐沢 穰 | Monash University Malaysia
名古屋大学 |
| 06-05 | 11:00～11:15
外集団攻撃に対する正当化イデオロギーの効果 | ○杉浦 仁美
清水 裕士
坂田 桐子 | 広島大学
広島大学
広島大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表07 Stereotype (大講堂) 13:45～15:00

座長 高 史明

- | | | |
|-------|--|--|
| 07-01 | 13:45～14:00
On the difficulty of replicating (one's) findings | ○SEEL Miriam 名古屋大学
KARASAWA Minoru 名古屋大学 |
| 07-02 | 14:00～14:15
インターネットの使用形態と在日コリアンへのレイシズム | ○高 史明 神奈川大学 |
| 07-03 | 14:15～14:30
実体性が両面価値的な集団への態度に及ぼす影響について | ○二木 望 東京大学
櫻井 良祐 東京大学
渡辺 匠 東京大学・日本学術振興会
唐沢 かおり 東京大学 |
| 07-04 | 14:30～14:45
加害時におけるラベリング行動：ゲーム場面におけるチーム名の決定による検討 | ○寺口 司 大阪大学・日本学術振興会
釘原 直樹 大阪大学 |
| 07-05 | 14:45～15:00
死の顕現性と自己の高齢化意識が高齢者に対する態度に与える効果 | ○竹内 真純 帝京大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表08 Organizaional Behavior (N2) 13:45 ~ 15:00

座長 膳場 百合子

- | | | | |
|-------|---|-----------------|-------------------------------|
| 08-01 | 13:45 ~ 14:00
クロス・トレーニングが共有メンタルモデルへ及ぼす効果の検討 | ○秋保 亮太
山口 裕幸 | 九州大学
九州大学 |
| 08-02 | 14:00 ~ 14:15
組織不祥事に対する責任判断—個人と組織の責任の関係— | ○膳場 百合子 | 早稲田大学 |
| 08-03 | 14:15 ~ 14:30
サイバーローファーは本当に怠け者か—他の職務逸脱行動及び職務へのモチベーションとの関連— | ○阿形 亜子
釘原 直樹 | 大阪大学
大阪大学 |
| 08-04 | 14:30 ~ 14:45
就業形態による労働意識の違いの検討 | ○高原 龍二
本田 豊輔 | 大阪経済大学
パナソニック エクセルスタッフ(株) |
| 08-05 | 14:45 ~ 15:00
就職活動プロセスと入職後の仕事への適応の関係性 | ○今城 志保
繁樹 江里 | リクルートマネジメントソリューションズ
青山学院大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表09 Social Exchange 1 (S1) 13:45～15:00

座長 相馬 敏彦

- | | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 09-01 | 13:45～14:00
抽象的解釈は利他的行動を促進するか？— 囚人のジレンマゲームを通じた検討 | ○伊藤 言
田中 良幸
高野 陽太郎 | 東京大学・日本学術振興会
東京大学
東京大学 |
| 09-02 | 14:00～14:15
他者目線で考えることは協力率を高めるか | ○曾根 美幸
北梶 陽子
大沼 進 | 北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| 09-03 | 14:15～14:30
集団協応による快感情は自己制御下手の攻撃を食い止めるか？ | ○相馬 敏彦
西村 太志
古門 真
壺内 康平 | 広島大学
広島国際大学
元広島国際大学
(福)聖風会 |
| 09-04 | 14:30～14:45
心を持つ存在の知覚と協力行動 | ○加村 圭史朗
堀田 結孝
竹澤 正哲 | 北海道大学
国立情報学研究所
北海道大学 |
| 09-05 | 14:45～15:00
他者の信頼性判断時における情報探索：視線計測による探索的検討 | ○井上 裕香子
清成 透子
齋藤 慈子
長谷川 寿一 | 東京大学
青山学院大学
東京大学
東京大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表10 Social Cognition 2 (大講堂) 15:15～16:45

座長 浅井 暢子

- | | | |
|-------|--|---|
| 10-01 | 15:15～15:30
経験の捉え方が成功経験と失敗経験の振り返りに及ぼす影響 | ○藤村 まこと 福岡女学院大学 |
| 10-02 | 15:30～15:45
自由意志信念が制裁・報復としての攻撃に与える影響 | ○松本 龍児 東京大学
櫻井 良祐 東京大学
渡辺 匠 東京大学・日本学術振興会
唐沢 かおり 東京大学 |
| 10-03 | 15:45～16:00
事前の予測と事後の説明(2)ーソチ冬季五輪を題材にー | ○外山 みどり 学習院大学 |
| 10-04 | 16:00～16:15
自発的推論に対する空間的距離の効果 | ○谷口 友梨 大阪市立大学
池上 知子 大阪市立大学 |
| 10-05 | 16:15～16:30
本質主義的信念が内外集団成員の性質推論に与える影響 | ○浅井 暢子 京都文教大学 |
| 10-06 | 16:30～16:45
友人査定戦略としての間接的要求 | ○平川 真 広島大学・日本学術振興会
清水 裕士 広島大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表11 Communication (N2) 15:15～16:30

座長 田淵 恵

- | | | | |
|-------|--|---|---|
| 11-01 | 15:15～15:30
猿回しのドラマツルギー～調教場面における猿舞師とサルとのインタラクション～ | ○島田 将喜
盛 恵理子 | 帝京科学大学
帝京科学大学 |
| 11-02 | 15:30～15:45
世代間コミュニケーションにおける感謝生起と制御適合 | ○田淵 恵
三浦 麻子 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| 11-04 | 15:45～16:00
対人コミュニケーション理論としてのディスコース・ポライトネス理論 | ○宇佐美 まゆみ | 東京外国語大学 |
| 11-05 | 16:00～16:15
社会化エージェントの多層的影響に関する研究 (5)
— 養育態度と社会的情報処理の関連をめぐる親子ペアデータを用いた検討 — | ○浅野 良輔
吉澤 寛之
吉田 琢哉
原田 知佳
玉井 颯一
吉田 俊和 | 浜松医科大学
岐阜大学
東海学院大学
名城大学
名古屋大学
岐阜聖徳学園大学 |
| 11-06 | 16:15～16:30
社会化エージェントの多層的影響に関する研究 (6)
— 潜在プロフィール分析を用いたエージェントクラス間の反社会性の比較 — | ○吉澤 寛之
吉田 琢哉
原田 知佳
浅野 良輔
玉井 颯一
吉田 俊和 | 岐阜大学
東海学院大学
名城大学
浜松医科大学
名古屋大学
岐阜聖徳学園大学 |

※ 11-03 は発表取消につき、11-04 以下が繰り上げて発表されます。

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表12 Political Behavior (S1) 15:15～16:45

座長 三浦 麻子

- | | | | |
|-------|---|--|--|
| 12-01 | 15:15～15:30
オンライン調査を用いた『大学生の保守化』の検証(1)
—大学生の田母神「信仰」が示すもの— | ○三浦 麻子
稲増 一憲 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| 12-02 | 15:30～15:45
オンライン調査を用いた『大学生の保守化』の検証(2)
彼らは何を保守しているのか? | ○稲増 一憲
三浦 麻子 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| 12-03 | 15:45～16:00
エネルギー問題の評価において係争的な枠組みがもたらす効果 | ○佐藤 浩輔
田原 真之
大沼 進 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学
北海道大学 |
| 12-04 | 16:00～16:15
否定的な評価を伴う政治的会話が政治参加に及ぼす効果
—政治的会話の効果の両面性に着目して— | ○横山 智哉
稲葉 哲郎 | 一橋大学
一橋大学 |
| 12-05 | 16:15～16:30
パネル・データ分析による政治的エピソード記憶の測定 | ○岡田 陽介 | 慶應義塾大学 |
| 12-06 | 16:30～16:45
エネルギー・環境の選択肢に関する討論型世論調査は民意を反映していたのか | ○前田 洋枝
広瀬 幸雄
大沼 進
佐藤 浩輔
野波 寛
杉浦 淳吉
大友 章司 | 南山大学
関西大学
北海道大学
北海道大学
関西学院大学
慶應義塾大学
甲南女子大学 |

口頭発表 第1日 7月26日(土)

口頭発表13 Collective Behavior (S2) 15:15 ~ 16:45

座長 安野 智子

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| 13-01 | 15:15 ~ 15:30
規範逸脱行動に関する行動基準と逸脱行動の拡散過程 | ○出口 拓彦 | 奈良教育大学 |
| 13-02 | 15:30 ~ 15:45
風評被害の何が問題なのか：場面想定法実験による検討(2) | ○泉 愛
中西 大輔
横田 晋大 | 広島修道大学
広島修道大学
総合研究大学院大学 |
| 13-03 | 15:45 ~ 16:00
オフライン対人環境の特性とインターネットプライバシー懸念 | ○THOMSON Robert
結城 雅樹 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学 |
| 13-04 | 16:00 ~ 16:15
オンラインニュース閲覧ログの分析：選択的接触と情報共有 | ○鈴木 貴久
小林 哲郎
祝前 伸光 | 総合研究大学院大学
国立情報学研究所
ヤフー(株) |
| 13-05 | 16:15 ~ 16:30
流行語としての「寄り添い」
新聞記事のテキストマイニングによる探索的研究 | ○前田 和寛
中西 大輔
井川 純一
河野 喬
志和 資朗 | 比治山大学
広島修道大学
広島大学
(公社)広島県社会福祉士会
広島修道大学 |
| 13-06 | 16:30 ~ 16:45
公務員削減への態度の規定要因 | ○安野 智子 | 中央大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表 14 Group Processes 1 (大講堂) 9:15～10:30

座長 藤本 学

- | | | | |
|-------|--|--------------------------|-----------------------------|
| 14-01 | 9:15～9:30
最小条件集団における内集団成員と外集団成員に対する印象評定 | ○國政 朱里
清成 透子 | 青山学院大学
青山学院大学 |
| 14-02 | 9:30～9:45
フォロワーのソーシャルスキルとリーダーシップ効果との関係 | ○土屋 裕希乃
境 忠宏 | 青山学院大学
淑徳大学 |
| 14-03 | 9:45～10:00
多元的無知が男性の育児休業取得意図に及ぼす影響
— 反育児規範知覚の媒介効果 — | ○宮島 健
山口 裕幸 | 九州大学
九州大学 |
| 14-04 | 10:00～10:15
集団凝集性と役割取得の斉一性が集団パフォーマンスに及ぼす影響 | ○藤本 学 | 久留米大学 |
| 14-05 | 10:15～10:30
飲食行動が話し合いに対する主観的評価に及ぼす影響
— 階層線形モデリング (HLM) による検討 — | ○中村 早希
小林 知博
三浦 麻子 | 関西学院大学
神戸女学院大学
関西学院大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表15 Social Issues (N2) 9:15～10:30

座長 池内 裕美

- | | | |
|--|--|---|
| <p>15-01 9:15～9:30
溜め込み行為は何をもたらすのか
— ホーディングによる心理社会的諸問題 —</p> | <p>○池内 裕美</p> | <p>関西大学</p> |
| <p>15-02 9:30～9:45
産業ストレスと1次/2次コントロールの関連</p> | <p>○塚原 拓馬</p> | <p>実践女子大学</p> |
| <p>15-03 9:45～10:00
迷惑施設をめぐる公平と共感による情動反応
非当事者の無関心は当事者の怒りを増幅する？</p> | <p>○野波 寛
大友 章司
坂本 剛
田代 豊</p> | <p>関西学院大学
甲南女子大学
名古屋産業大学
名桜大学</p> |
| <p>15-04 10:00～10:15
中国における農民工児童の貧困と健康</p> | <p>○曹 陽</p> | <p>中国科学院心理研究所</p> |
| <p>15-05 10:15～10:30
地域住民における世代間交流志向の関連要因
～神戸市灘区鶴甲地域住民調査から～</p> | <p>○片桐 恵子
竹中 優子
岡田 修一
近藤 徳彦
長ヶ原 誠
増本 康平
朴木 佳緒留</p> | <p>神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学</p> |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表 16 Social Neuroscience (S1) 9:15 ~ 10:30

座長 柳澤 邦昭

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| 16-01 | 9:15 ~ 9:30
自由意志信念と収獲から探索への意思決定方略の移行
指尖容積脈波を用いた心理生理学的検討 | ○後藤 崇志
石橋 優也
梶村 昇吾
岡 隆之介
楠見 孝 | 京都大学・日本学術振興会
(株)表現
京都大学・日本学術振興会
京都大学
京都大学 |
| 16-02 | 9:30 ~ 9:45
扁桃体-前頭前野腹外側部の相互作用が文化的世界
観防衛を予測する | ○柳澤 邦昭
阿部 修士
嘉志摩 江身子
野村 理朗 | 京都大学・日本学術振興会
京都大学
La Trobe University
京都大学 |
| 16-03 | 9:45 ~ 10:00
自他間での情動共有過程の検討：生理反応の同期化
に着目して | ○大家 慧
村田 藍子
亀田 達也 | 北海道大学
北海道大学・日本学術振興会
北海道大学 |
| 16-04 | 10:00 ~ 10:15
養育態度認知と脳形態の関係 | ○高岸 治人 | 玉川大学 |
| 16-05 | 10:15 ~ 10:30
間接互惠性の神経基盤：共感と報酬計算 | ○竹澤 正哲
渡部 喬光
中分 遥
國松 聡
山末 英典
中村 光宏
宮下 保司
増田 直紀 | 北海道大学
東京大学・ロンドン大学
北海道大学
東京大学
東京大学
東京大学・総合研究大学院大学
東京大学
東京大学・ブリストル大学 |

口頭発表 第 2 日 7 月 27 日 (日)

口頭発表 17 Social Cognition 3 (大講堂) 13:30 ~ 14:45

座長 石井 辰典

- | | | | |
|-------|---|--------------------------|------------------------------|
| 17-01 | 13:30 ~ 13:45
送り手のジェスチャーが透明性の錯覚に与える影響 | ○太幡 直也 | 常磐大学 |
| 17-02 | 13:45 ~ 14:00
ギャンブルにおける賭けのリスク・額・速さ・止め時に関する実験的検討 | ○高田 琢弘
湯川 進太郎 | 筑波大学・日本学術振興会
筑波大学 |
| 17-03 | 14:00 ~ 14:15
心的状態の推測における係留と調整:「自己」は係留点として働く | ○石井 辰典
竹澤 正哲
館野 隼和 | 東京成徳大学
北海道大学
上智大学 |
| 17-04 | 14:15 ~ 14:30
アンカリング効果の発生過程に関するモデルの比較検討 | ○長谷 和久
中谷内 一也 | 同志社大学
同志社大学 |
| 17-05 | 14:30 ~ 14:45
大学における学生のソーシャル・キャピタルがソーシャル・ネットワークへ及ぼす影響の検討
— 大学における他者とのつながりの認知と構造は、社会的絆を生み出すか — | ○芳賀 道匡
高野 慶輔
坂本 真士 | 日本大学
日本大学・日本学術振興会
日本大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表 18 Environment (N2) 13:30～14:45

座長 安藤 香織

- | | | | |
|-------|---|----------------------------------|--|
| 18-01 | 13:30～13:45
電力使用習慣の節電行動への影響～2重動機モデルによる検討～ | ○大友 章司 | 甲南女子大学 |
| 18-02 | 13:45～14:00
大学生の環境配慮行動の国際比較 | ○安藤 香織
大沼 進 | 奈良女子大学
北海道大学 |
| 18-03 | 14:00～14:15
廃棄物管理における住民の満足と行動の規定因モデル分析 | ○小島 英子
阿部 直也
大迫 政浩 | 国立環境研究所
東京工業大学
国立環境研究所 |
| 18-04 | 14:15～14:30
東日本大震災に伴う買い控え低減に向けたメッセージアピールの検討(1) | ○工藤 大介 | 同志社大学 |
| 18-05 | 14:30～14:45
フランス高レベル放射性廃棄物地層処分施設の受容に関する規定因 | ○大澤 英昭
大友 章司
大沼 進
広瀬 幸雄 | 日本原子力研究開発機構
甲南女子大学
北海道大学
関西大学 |

口頭発表 第 2 日 7 月 27 日 (日)

口頭発表 19 Social Exchange 2 (S1) 13:30 ~ 14:45

座長 中西 大輔

- | | | |
|-------|--|--|
| 19-01 | 13:30 ~ 13:45
An examination of trust between high- and low-caste groups in Nepal | ○Joanna Schug The College of William & Mary (USA)
○Gagan Atreya The College of William & Mary (USA) |
| 19-02 | 13:45 ~ 14:00
相互依存性と内集団協力
—— 野球ファンを対象とした場面想定法実験 —— | ○中川 裕美 広島修道大学
横田 晋大 総合研究大学院大学
中西 大輔 広島修道大学 |
| 19-03 | 14:00 ~ 14:15
評判が用いられる状況の特性 | ○稲葉 美里 北海道大学・日本学術振興会
高橋 伸幸 北海道大学・北海道大学社会科学実験研究センター |
| 19-04 | 14:15 ~ 14:30
Webで実行できる社会的ジレンマ実験プログラムの開発 | ○中西 大輔 広島修道大学
横田 晋大 総合研究大学院大学
中川 裕美 広島修道大学
泉 愛 広島修道大学 |
| 19-05 | 14:30 ~ 14:45
非協力的なリーダーの正統性は成員の協力行動を引き出すか | ○寺島 圭 関西学院大学
三浦 麻子 関西学院大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表20 Evolutionary Psychology (大講堂) 15:00 ~ 16:15

座長 品田 瑞穂

- | | | |
|-------|---|---|
| 20-01 | 15:00 ~ 15:15
生活史理論による個人差説明：生活史戦略尺度の妥当性の検討 | ○新井 さくら 東京大学
清成 透子 青山学院大学
齋藤 慈子 東京大学
長谷川 寿一 東京大学
山岸 俊男 東京大学 |
| 20-02 | 15:15 ~ 15:30
適応的バイアスとしての透明性の錯覚の検討 | ○品田 瑞穂 東京学芸大学 |
| 20-03 | 15:30 ~ 15:45
関係価値は共感を介して赦しを促進するのか？ | ○大坪 庸介 神戸大学
山浦 一保 立命館大学
清水 裕士 広島大学
八木 彩乃 神戸大学 |
| 20-04 | 15:45 ~ 16:00
意図のシグナルが懲罰的非協力者の評判に及ぼす影響 | ○田中 大貴 神戸大学
大坪 庸介 神戸大学 |
| 20-05 | 16:00 ~ 16:15
大切なパートナーにはコストをかけて謝ったか？：回想研究による検討 | ○八木 彩乃 神戸大学
大坪 庸介 神戸大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表21 Social Attitudes (N2) 15:00～16:15

座長 小森 めぐみ

- | | | | |
|-------|--|------------------|--------------|
| 21-01 | 15:00～15:15
クラシック音楽への初期接触と選好
— 潜在クラス分析を用いて — | ○辻 竜平 | 信州大学 |
| 21-02 | 15:15～15:30
なつかしさ経験に及ぼす加齢の影響
— ノスタルジアとの差異の検討と傾向尺度の作成 — | ○楠見 孝 | 京都大学 |
| 21-03 | 15:30～15:45
物語への移入が論拠の強さの異なる説得メッセージ
の受容に及ぼす影響 | ○小森 めぐみ | 四天王寺大学 |
| 21-04 | 15:45～16:00
実行意図と計画意図の形成と行動変容：乳癌検診の
受診行動への介入研究からの示唆 | ○平井 啓 | 大阪大学 |
| 21-05 | 16:00～16:15
提示法による人工細胞イメージの変化 | ○日比野 愛子
永田 素彦 | 弘前大学
京都大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表 22 Self 2 (S1) 15:00 ~ 16:15

座長 谷口 淳一

- | | | |
|-------|---|---|
| 22-01 | 15:00 ~ 15:15
何を買えば幸せになれるのか? — 大学生の消費行動と幸福感 — | ○山口 真奈 神戸大学
菅 さやか 愛知学院大学
中西 大輔 広島修道大学
増地 あゆみ 北海学園大学
小西 直喜 神戸大学
兪 叶韵 神戸大学
大坪 庸介 神戸大学 |
| 22-02 | 15:15 ~ 15:30
友人からの自己への評価が自己効力感や精神的健康に与える影響 | ○谷口 淳一 帝塚山大学 |
| 22-03 | 15:30 ~ 15:45
白/黒の被服が道徳性の自己認知に与える影響 | ○上林 憲司 一橋大学
田戸岡 好香 一橋大学
石井 国雄 明治学院大学
村田 光二 一橋大学 |
| 22-04 | 15:45 ~ 16:00
母親の養育態度と青年期の愛着機能が探索行動と適応性に及ぼす影響 | ○金政 祐司 追手門学院大学 |
| 22-05 | 16:00 ~ 16:15
ストレスフルな体験の意味づけにおける侵入的熟考と意図的熟考の役割 | ○上條 菜美子 筑波大学・日本学術振興会
湯川 進太郎 筑波大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表23 Cultural Evolution (大講堂) 16:30～17:45

座長 堀田 結孝

- | | | | |
|-------|---|---------------------------|--|
| 23-01 | 16:30～16:45
文化伝達における技術の淘汰：実験的再検討 | ○須山 巨基
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| 23-02 | 16:45～17:00
多数派への追随は文化の一極化をもたらすのか：文化伝播モデルの拡張 | ○山本 仁志
小川 祐樹 | 立正大学
立正大学 |
| 23-03 | 17:00～17:15
文化進化を理解する枠組みとしての多峰型適応度地形 | ○中分 遥
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学 |
| 23-04 | 17:15～17:30
多元的無知のメカニズムとその帰結 | ○岩谷 舟真
相田 直樹
村本 由紀子 | 東京大学
東京大学
東京大学 |
| 23-05 | 17:30～17:45
集団主義・病原菌・制度：信頼の解放理論に基づく検討 | ○堀田 結孝
竹澤 正哲 | 国立情報学研究所・JST・ERATO・
河原林巨大グラフプロジェクト
北海道大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表24 Risk (N2) 16:30～17:45

座長 広田 すみれ

- | | | |
|-------|--|--|
| 24-01 | 16:30～16:45
運命共同化による信頼の改善 | ○中谷内 一也 同志社大学 |
| 24-02 | 16:45～17:00
放射線量の自己測定が不安感や判断に与える影響の探索的検討 | ○広田 すみれ 東京都市大学 |
| 24-03 | 17:00～17:15
手続き的公正が保護価値を緩和する効果：幌延深地層処分研究所事例調査 | ○大沼 進 北海道大学
北梶 陽子 北海道大学・日本学術振興会
佐藤 浩輔 北海道大学・日本学術振興会
石山 貴一 北海道大学 |
| 24-04 | 17:15～17:30
It's not NIMBY! 当事者性の喚起が忌避施設受容に及ぼす影響 幌延深地層処分研究所事例調査 | ○北梶 陽子 北海道大学・日本学術振興会
大沼 進 北海道大学
石山 貴一 北海道大学 |
| 24-05 | 17:30～17:45
リスク情報の影響に関する検討：行動意図と実際の行動の乖離について | ○杉谷 陽子 上智大学 |

口頭発表 第2日 7月27日(日)

口頭発表25 Group Processes 2 (S1) 16:30～17:30

座長 柿本 敏克

- | | | | |
|-------|---|--|---|
| 25-01 | 16:30～16:45
小集団の集団的知性に関する一考察
一 課題解決場面における発話の分散と性別の割合
一 | ○藤原 健
毛 新華
木村 昌紀
磯 友輝子
大坊 郁夫 | 大阪経済大学
神戸学院大学
神戸女学院大学
東京未来大学
東京未来大学 |
| 25-02 | 16:45～17:00
わが国における Asch 型同調実験の30年ぶりの追試 | ○釘原 直樹
寺口 司
内田 遼介
阿形 亜子 | 大阪大学
大阪大学
大阪大学
大阪大学 |
| 25-03 | 17:00～17:15
逸脱者に対する排斥の容認：社会的排斥に対する正統性評価の調整効果の検討 | ○玉井 颯一
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| 25-05 | 17:15～17:30
ポテンシャル・エネミー法の改良の試み | ○柿本 敏克
高橋 遥 | 群馬大学
玉村町役場 |

※ 25-04 は発表取消につき、25-05 が繰り上げて発表されます。